

ビジネスで使える統計ミニセミナー

日時 2020年8月20日(木) 14:00～17:00 《お申込締切日：8月18日(火)》

会場 当セミナーは、ライブ配信型オンライン公開セミナーです。
ご自宅など、受講場所を問いません。

受講料 12,000円(税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナル・コンサルティング代表社員
長谷川 正恒

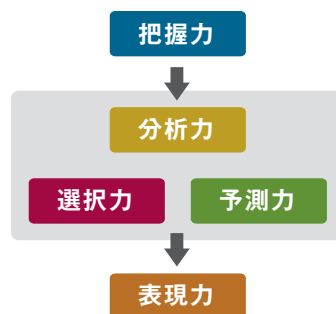
受講対象 ・経営者、人事ご担当者
・部門にて教育研修導入をお考えの方

定員 24人(最小開催人数：6人)
定員になり次第、締め切ります。

※研修内容は統計手法の基礎を学びたい若手中堅社員を対象としております

「ビジネスに必要な5つの力」とは

ビジネスシーンにおいて必要とされる数学力は、大きく5つに分けられます。物事の状況や特徴をつかむ「**把握力**」、規則性や変化、相関などを見抜く「**分析力**」、いくつかの事象から最適な解を選ぶ「**選択力**」、過去のデータから未来を見通す「**予測力**」、情報を正確に伝える「**表現力**」です。これらの力は、ビジネスシーンの至るところで求められます。



セミナーのねらい

① ビジネスシーンで役立つ「統計の基礎」を理解する

統計データは眺めているだけでは単なる数字の羅列にすぎません。統計データをきちんと読み取るには「数値」と「ばらつき」の2つに着目し、「平均値」「中央値」「標準偏差」などの基本統計量を読み取る必要があるのです。まずは基本統計量の求め方・読み方について確認しましょう。

② データを「読む力」と「伝える力」が向上する

統計データから得た情報はビジネスに活用できて初めて意味を持ちます。しかし、統計情報を数値のまま伝えても、意図した内容が伝わらないことが多いのです。情報を効果的に伝えるためには、図表やグラフを適切に活用することが必須です。本セミナーでは、統計情報を伝えるための効果的なグラフの使い方を学びます。

③ 使用頻度の高い分析手法を身につける

統計データを正しく分析するには、知りたい内容に合わせて適切な分析手法を選ぶ必要があります。分析手法は数多く存在しますがデータ分析の専門家でもない限り、通常の業務で使用する分析手法はそれほど多くありません。本セミナーでは通常の業務でもよく使われる分析手法である「相関」と「単回帰分析」の活用方法について学びます。

プログラム

Step1 (14:00～14:40)	Step2 (14:40～15:20)	Step3 (15:30～16:10)	Step4 (16:10～17:00)
データを読む ：基本統計量の意味と使いどころのポイントを学び、Microsoft Excel®を用いて求める方法を身につける。	情報を伝える ：「棒グラフ」「折れ線グラフ」「円グラフ」の使い分けを学び、目的に合わせてMicrosoft Excel®でグラフを作成する方法を身につける。	よく使う分析 ：広く活用できる基本的な分析手法である「相関」等について学び、Microsoft Excel®を使った分析の方法を身につける。	実践演習 ：Step3までに身につけた知識・手法を、実際のビジネスデータに活用し、統計データを処理するポイントをつかむ。

会 場

当セミナーは、ライブ配信型オンライン公開セミナーです。
ご自宅など、受講場所を問いません。

Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン型セミナーです。

パソコンがあれば、受講が可能です。

受講中は、チャット機能や、オンライン上で編成されたグループ演習への参加により、全員が発信者となり、セミナーに主体的に取り組むことができます。

講師プロフィール



公益財団法人 日本数学検定協会認定
ビジネス数学インストラクター

は せ がわ まさのぶ
長谷川 正恒

オルデナール・コンサルティング合同会社（代表社員）

《過去経歴》

エン・ジャパン株式会社（執行役員：経営企画室長）

株式会社アトラス（経営企画部長）中長期戦略策定、事業戦略策定、事業運用支援等に從事

キンコーズ・ジャパン株式会社（Sales Manager / District Manager）

専門分野：経営企画業務全般、財務経理・法務・IT 等バックオフィス関連全般、上場支援他

お申し込み方法

会場などの詳細とお申し込みは、ビジネス数学公式サイトの「研修・セミナー公開コース」ページをご覧ください。

▶ www.su-gaku.biz/seminar/public/